

## ロシア極東の交通インフラ整備と沿海地方における新たな構想やプロジェクト

極東海運研究所（ロシア）運輸発展部長

ミハイル・ホロシャ

本報告は、ロシア極東地域全体を扱っているが、特に沿海地方南部に重点を置いている。この地は、北東アジアにおける交通路が集まり、各国の構想を相互につなぐという特別な場である。

本報告は4つの部分からなる。

- ・ロシア極東地域の運輸部門、経済発展の主な実績
- ・沿海地方を含むロシア極東地域における既存の構想、プロジェクトの概要
- ・既存および新規のプロジェクトにある基本的考え方
- ・プロジェクトの実現への課題と過去の経験

本報告の問題意識は次の通りである。北東アジアおよびユーラシアには多くの構想やプロジェクトがある。「ユーラシア経済連合」、中国の「一帯一路」、韓国が進める「北東アジア平和協力構想」、「ユーラシア・イニシアチブ」などである。日本やその他の国々にも複数の構想がある。これらをいかにまとめあげるか。ユーラシア大陸の様々な国々が提示している構想を調和させる方策があることが中心命題である。

これらの発展構想を互換性と相補性に基づいて推進していくことが、建設的な政策となろう。

これは、複数の構想を一つに揃えることを意味する。沿海地方は、ロジスティクスおよび交通路において特別な役割を果たすことができる。さらに、GTI がより効果的な協力体制に改組されることで、GTI も重要な役割を果たしうる。交通網の発展についての新たなシナリオによって、沿海地方の国際輸送回廊がロシア内外の幅広い潜在的パートナーにとって魅力的であることが示されるだろう。新たな国際輸送回廊モデルにより、一つの交通網を形成することができ、新たな構想が生まれた際には、それをその交通網の中に取り込むことができるようになる。ここで提案するモデルは、国際的な相互協力に対して開かれたものである。

[ERINA にて翻訳]